

● 一般社団法人音楽電子事業協会 第14回通常総会報告、新役員紹介	1~2
● 令和7年度役員名簿・組織	3
CONTENTS ● 令和7年度事業計画 委員会活動(案)	4~5
● MUSIC AWARDS JAPAN 2025 にてAMEIがミュージックテック功労賞を受賞しました	6
● AMEI会員名簿・令和7年度MIDI検定告知・SysExID会員募集	7

一般社団法人音楽電子事業協会 第14回通常総会報告

令和7年5月16日、一般社団法人音楽電子事業協会第14回通常総会が午後4時00分から東京飯田橋のホテルメトロポリタンエンドモントにて開催されました。総会に先立ち、松木温会長より、「最近では、アメリカの関税問題もあり、先行きが一層見えにくい状況である。しかしそれに惑わされることなく、確実に音楽文化の発展に貢献していきたい。」との挨拶があり、また、会長を交代する件についても言及され、この1年の活動協力への謝辞を述べるとともに後任会長候補の紹介を経て、議事の進行に入りました。

まず、事務局から定足数（正会員22社に対し、委任状を含む出席者18名）が発表され、総会の成立が報告されました。定款に基づき松木会長が議長となり、議事録署名人として三木康司様、古山俊一様の2名が選任され、議案審議に移りました。

「令和6年度事業報告」として、理事会、幹事会、運営委員会並びに各専門委員会・部会の活動概要が報告されました。続いて、第1号議案「令和6年度収支決算承認の件、及び監査の報告」について事務局からの報告並びに監事の三木康司様からの監査報告があり、承認。第2号議案「令和7年度事業計画(案)審議決定の件」では、令和7年度における各委員会の活動予定が説明され承認されました。続いて第3号議案「令和7年度収支予算(案)審議承認の件」について事務局から説明され、承認。第4号議案「令和7年度役員交代の件」では、松木会長、渡邊副会長並びに林理事から辞任届が提出されたのに伴い、後任理事候補として阿部征治様、小澤二穂様並びに岡野真吾様の紹介があり、承認されました。以上ですべての議案が審議・承認されました。最後に議長より議事進行についての協力の謝意があり、第14回通常総会は終了しました。その後、臨時理事会が別室にて開催され、阿部会長、小澤副会長の選任が承認されました。臨時理事会後、阿部新会長から「私は入社以来、長い期間にわたり電子楽器製品の企画・開発に関わってまいりました。このたび、このような責務を拝受し、誠に嬉しく思います。1983年にMIDI規格が発表されてから40年以上が経過しました。長きにわたり現存しているということは、市場や業界にとっていまだに有用である証だと考えております。共通の規格を軸に、企業の枠を超えて理念を共有し、業界全体の発展に総合的に貢献することが本協会の活動目的と理解しております。私自身、微力ながらお役に立てるよう努力してまいりましたので、何卒よろしくお願い申し上げます。」と挨拶がありました。



続いて午後5時30分から「通常総会懇親会」が開催され、阿部新会長の挨拶の後、ご来賓の経済産業省商務・サービスグループ 文化創造産業課 課長補佐 腰田将也様、文化庁著作権課著作物流通推進室室長 八田聡史様からのご挨拶に続いて、一般社団法人日本音楽著作権協会常務理事 増田 裕一様のご乾杯のご発声により、和やかに懇親会が始まりました。会はその後も、本総会で会長を退任された松木温様、同じく副会長を退任された渡邊泰人様からのご挨拶を間に挟んで、弾んだ談笑が続けられ、志水貴光副会長による中締めの後、午後8時過ぎに散会いたしました。



新任役員紹介

新任会長 阿部 征治 ヤマハ株式会社 執行役員 楽器事業本部電子楽器事業部長

このたび、音楽電子事業協会(AMEI)の会長に、松木前会長の後任として就任いたしました。

まずは、日頃よりAMEIの活動を支えてくださっている会員の皆様、そして事務局の皆様、心より感謝申し上げます。

音楽とテクノロジーが融合するこの領域において、AMEIはMIDI規格の策定・普及を通じて、業界の標準化と発展に大きく貢献してまいりました。現在ではMIDI 2.0の推進、著作権処理団体との連携、教育・検定活動、国際的な技術交流など、取り組みの幅もますます広がっております。

先般の総会では、AMEIが企業の枠を超えた交流の場として非常に意義深く、業界内の知見や技術を共有し合える貴重なプラットフォームであることを改めて実感いたしました。こうした協調の精神こそが、音楽文化の持続的な発展を支える力になると確信しております。

このたび「MUSIC AWARD JAPAN 2025」にて、ミュージックテック功労賞を受賞するという栄誉に浴しました。会長就任からわずか1週間後というタイミングで授賞式に参加いたしました。MIDI技術の普及を通じたAMEIの長年の取り組みが認められたものと受け止めております。当日の様子はアーカイブでもご覧いただけますが、ご参加されていた多くの音楽家の方々から温かい拍手やお声掛けを頂き、改めてMIDIという技術が音楽普及に果たしてきた役割の大きさを実感いたしました。

私自身、長年にわたり電子楽器の企画・開発・マーケティングに携わり、プライベートでもユーザーとして関わってまいりました。今後は、より若い世代や新興企業、教育機関とも積極的に連携し、音楽文化の未来を支える技術基盤の構築に努めてまいりたいと考えております。

AMEIがより開かれた協会として、社会に貢献できる存在となるよう、力を尽くしてまいります。今後とも、AMEIの活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくご願ひ申し上げます。



阿部 征治 会長

新任副会長 小澤 二穂 株式会社第一興商 エンターテインメント事業本部 制作管理部長

AMEI会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、前任者の異動に伴い、2025年5月16日の第14回通常総会にてご承認いただき、前副会長渡邊の後任として就任いたしました小澤です。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

私は弊社に入社してから、業務用通信カラオケ「DAM」を中心に、電子目次本「デンモク」、周辺機器「アンプ」「スピーカー」「マイク」、民生用カラオケアプリ「カラオケ@DAM」などの開発に携わってきました。入社当時、専門知識習得やスキル向上のため、MIDI規格委員会への参加を指示されたことがあり、「GM2(General MIDI System Level 2)」の規格制定や、当時の次世代規格である「USB」や「IEEE1394」を用いたMIDIインターフェースの検討を目の当たりにしたことが、私とAMEIとの最初の関わりになります。メーカーや業界の垣根を越えて、MIDI規格の拡張を推進する熱量の高さに驚きを感じたと共に、各社の優秀なエンジニアの知見に刺激を受けたことを覚えております。

ご存じの通り、MIDIは1983年に提唱された元々は電子楽器のための共通規格ですが、MIDI関連で一番成功したビジネスは通信カラオケとも言われており、40年以上前の技術が未だに弊社の「DAM」に活用されております。そんな長きに渡り業界の発展に貢献してきたAMEIの副会長就任に重責を感じておりますが、微力ながら協会の一員として、著作権使用料の適正化などに尽力する所存でございますので、皆様のご指導及びご支援を賜りますよう、何卒よろしくご願ひ申し上げます。



小澤 二穂 副会長

新任理事 岡野 真吾 カシオ計算機株式会社 サウンド・新規事業部 サウンド開発統轄部 開発部長

AMEI 会員の皆様へ

このたび、第14回通常総会におきまして理事にご承認いただきました、カシオ計算機 サウンド・新規事業部 サウンド開発統轄部 開発部長の岡野真吾と申します。

この場をお借りして、謹んでご挨拶申し上げます。

現在、世界は依然として解決の糸口が見えない国際紛争や、米国トランプ政権下で導入された関税措置の影響など、複雑な課題に直面しております。こうした状況の中で、楽器業界は多様な外部環境の変化に適応し、楽器を使った新たな楽しみや体験など、これまでにない価値と文化を創造するとともに、持続的な成長を目指すことが強く求められていると感じております。

私自身はこれまで、サウンド技術の開発や新規事業の推進に携わり、多様化する音楽体験の創出に努めてまいりました。そうした経験を通じて、AIやIoT、クラウド技術の急速な発展に伴い、電子楽器や関連機器の標準化、販売先各国の法規制対応、そして知的財産権の適切な保護といった課題は、ますます重要になっていると実感しており、AMEIがこれらの課題解決に向けて果たす役割は非常に大きいと確信しております。

今後は理事として、会員企業の皆様と連携しながら、技術革新と市場ニーズを的確に捉え、業界全体の発展に寄与してまいります。また、オンラインとリアル双方の利点を活かしたコミュニケーションの深化や若手技術者の育成支援にも注力し、持続可能な音楽産業の未来づくりに貢献していく所存です。

結びに、AMEIの一員として微力ながら尽力してまいりますので、会員の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。



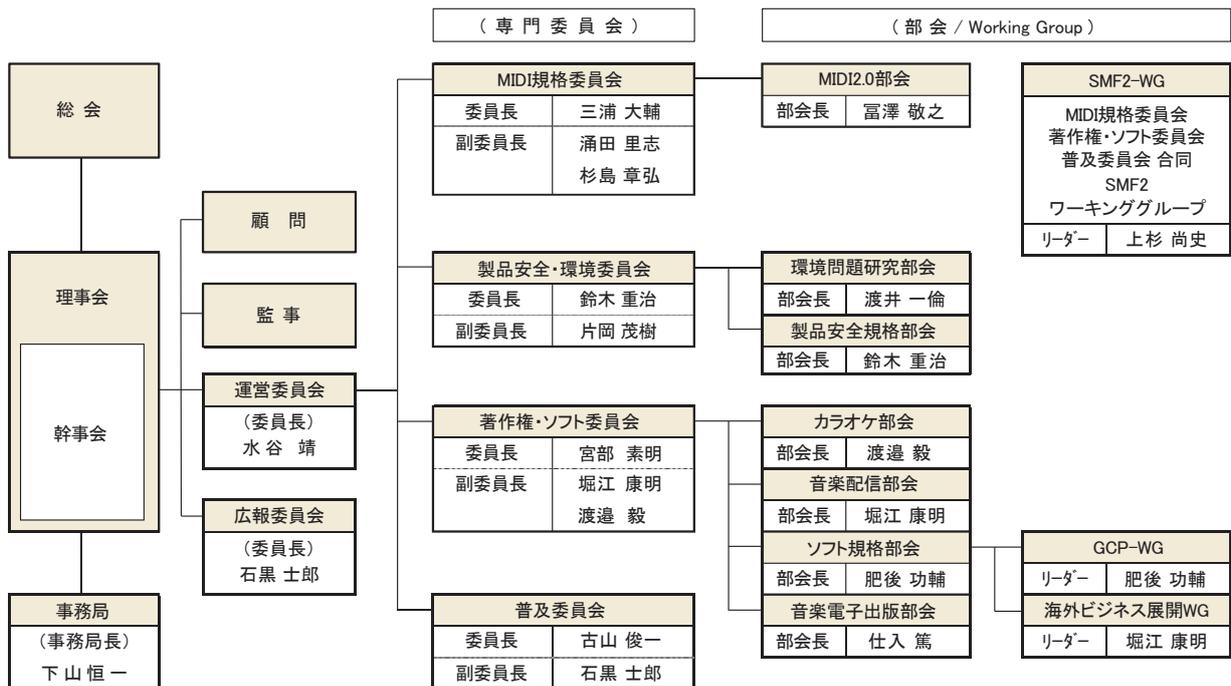
岡野 真吾 理事

令和7年度 一般社団法人音楽電子事業協会役員名簿

理事会 幹事会役職	氏名	会社名	役職
会 長	阿部 征治	ヤマハ株式会社	執行役員 楽器事業本部 電子楽器事業部長
副 会 長	小澤 二穂	株式会社第一興商	エンターテインメント事業本部 制作管理部長
◇	志水 貴光	ローランド株式会社	執行役員 技術開発本部長
常務理事	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社	代表取締役
◇	水谷 靖	株式会社エクシング	代表取締役社長
理 事	大石 耕史	株式会社コルグ	取締役
◇	岡野 真吾	カシオ計算機株式会社	サウンド・新規事業部 サウンド開発統轄部 開発部長
◇	中西 正人	株式会社フェイス	専務取締役
幹 事	石垣 敦子	株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	ミュージックメディア部部长
◇	中村 維利	学校法人 尚美学園	法人本部長 兼尚美学園大学 事務局長
◇	成田 賢哉	株式会社鈴木楽器製作所	執行役員 開発本部長
◇	箕輪 匡文	株式会社河合楽器製作所	常務取締役 執行役員
◇	村上 昇	株式会社インターネット	代表取締役
監 事	三木 康司	株式会社シーミュージック	代表取締役
◇	古山 俊一	尚美学園大学	名誉教授
顧 問	佐々木 隆一		

※ 敬称略・50音順（上記の役員は非常勤です。）

令和7年度 組織図 一般社団法人音楽電子事業協会



* 敬称略順不同

一般社団法人音楽電子事業協会 令和7年度事業計画委員会活動(案)

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 全体

以下各委員会活動は、定款（事業）第4条の各項に準ずるものとする。

2 製品安全・環境委員会

活動方針

製品安全規格・環境問題研究両部会での情報交換と、各法規制からの要求事項に対する解釈のレベル合わせのための活動を継続し、電子電気楽器及び関連機器製品の安全性確保と環境問題への対応推進を図る。

事業計画

- 「製品安全規格部会」：4月17日、7月17日、10月16日、1月15日
原則第3木曜日開催を予定。東京又は浜松+オンラインのハイブリッドによる
- 「環境問題研究部会」：4月8日、7月8日、10月14日、1月13日
原則第2火曜日開催を予定。東京又は浜松+オンラインのハイブリッドによる

活動テーマ

「製品安全規格部会」
年4回部会を開催し、各国の安全規格・EMC規制・省エネルギー規制・無線規制等の情報交換を行う。

下記外部団体に参加して情報収集を行い、部会において各社に展開する。

- JEITA マルチメディア EMC 専門委員会
 - JBMIA 第108委員会
 - 電気用品調査委員会の電波雑音部会
 - 電気製品認証協議会
- ※電気用品安全法の要望の窓口となる参加団体については引き続き調査する。

「環境問題研究部会」

- (1) 化学物質規制・管理法関連の動向調査及び情報交換
 - EU RoHS、EU REACH
 - CN RoHS、UAE RoHS
 - US TSCA、Proposition65
 - 各国化学物質管理・規制法
- (2) 省エネルギー法・規制の動向調査及び情報交換
 - EU エコデザイン規則
 - 各国待機電力規制
- (3) 廃棄物・リサイクル法関連の動向
 - WEEE・各国容器包装法
- (4) その他の動向
 - 違法伐採・木材管理法関連（CITES 含む）
 - PFAS・難燃剤規制の動向
 - サプライチェーンにおける情報伝達（chemSHERPA など）

3 MIDI 規格委員会

活動方針

- 音楽や電子楽器に関する技術検討、規格審議を行い、将来の音楽事業発展に貢献する

活動計画

- MIDI 規格委員会開催：
 - メーリングリストでの審議を基本とし、必要に応じてオンラインにて開催。
- MIDI2.0 部会の開催：
 - 月次開催。コロナウイルスの状況によりオンライン、オンサイト開催を検討。
 - 状況により、適宜、臨時部会を開催
- イベント共催および参加：
 - Music China 2025 参加、MIDI Association 主催のセミナー参加
 - 東京楽器博 2025 MIDI 2.0 セミナー主催
 - NAMM 2026 参加、MIDI Association 主催のセミナー参加

事業計画

- MIDI 2.0 市場発展及び推進活動
 - MIDI Association と共同で MIDI 2.0 市場展開の施策を検討
 - AMEI/MIDI Association メンバー間で MIDI 2.0 関連ツールを利用し合うための Joint IP Policy 策定、契約締結
 - 普及委員会と協力し、MIDI 2.0 製品のユーザー体験を創出する活動を検討
 - AMEI MIDI 2.0 関連ホームページの拡充
 - MIDI 2.0 規格実装ガイドラインの検討
 - 楽器関連イベントでの MIDI 2.0 セミナー実施
- MIDI2.0 部会：
 - Windows USB MIDI 2.0 Driver の開発完了、リリース後の各種サポート
 - MIDI Association と連携し、MIDI 2.0 関連規格の標準化
 - MIDI Association と協力し、MIDI 2.0 の DAW 連携における課題解決
 - 規格仕様検証のためのプロトタイプ実施
 - Piano Profile WG と連携し、Piano Profile 規格の標準化
- SMF2 WG と連携し、関連規格の標準化

SMF2 WG

コンテナ形式のフォーマットについて論議予定

4 著作権・ソフト委員会

活動方針

1. 会員各社の事業運営における著作権に係る問題点等を解決すべく、関係団体と協力し権利者との協議や文化庁に対する要望申し入れ等を活発に行う。また、著作権法の

改正を含む様々な環境変化の中で生じる不具合については、積極的に関係省庁、権利者、管理事業者等に問題提起を行う。

2. 定例会を通じ各分会それぞれが取り組んでいる課題と成果をタイムリーに情報共有しつつ、委員各位の意見を吸収し部会活動に反映させることにより、会員個々の事業の活性化と市場の発展に貢献する。

活動計画

委員会定例会 10 回（8 月、1 月を除く毎月第二木曜日）、音楽配信部会 15 回程度（管理事業者との協議や関連団体との意見交換含む）、ソフト規格部会 5 回程度、カラオケ部会 5 回程度、音楽電子出版部会 12 回程度

事業計画

【音楽配信部会】

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を著作権・ソフト委員会定例会の場にて実施すると共に、ネットワーク音楽著作権連絡協議会（以下 NMRC）を通じ管理事業者との協議・関連団体との意見交換に反映させる。
2. NMRC 実務 WG を通じて、実務上の問題点解決にむけ、管理事業者、関連団体との意見交換を実施する。
3. 音楽配信部会での情報共有、意見の集約を積極的に行う。
4. コンテンツビジネスや著作権についての意見交換を積極的に行う。
5. 関連部会や委員会との情報交換を密にし、部会での情報共有を行う。

【ソフト規格部会】

（GCP-WG）

- 現在、楽器内蔵コンテンツの保護に関連する特段の問題等も発生しておらず、定例会の開催を見合わせている。議題が提起された場合に、メンバーに随時ご参集いただく形で進める。

（海外ビジネス展開 WG）

- EU のデジタル著作権法の指令に基づくドイツ国内法の改正についての資料、UK の状況等の調査と、海外の著作権ニュースの資料作成、アメリカ複製権の管理団体の動向ウォッチ等を行う予定。

【カラオケ部会】

1. 一般社団法人日本音楽著作権協会（以下 JASRAC）との使用料規程第 10 節「業務用通信カラオケ」に関する継続協議。
 - 他の管理事業者が管理する楽曲の利用割合の反映に関する実務運用
 - 非管理楽曲が使用されている実態を勘案した利用割合に関する協議
 - その他、使用料規程の取扱いに関する協議
2. 株式会社 NexTone との使用料規程に関する継続協議。
3. 各著作権等管理事業者との第三者機関を活用した実務運用の検討

【音楽電子出版部会】

1. 楽譜や歌詞の可視的利用にかかる使用料規定について、過去の議論を基に現状と今後について、引き続き音楽電子出版部会にて協議していく。
 - JASRAC と NexTone の双方における用語定義の理解を深めることを主眼に活動。
 - 継続して、管理団体との WG の場を活用したヒアリングを実施する。
 - JASRAC とダウンロード、ストリーミング、サブスク

リプション料率協議を実施。

2. その他

- 外部環境、業界動向など掌握し情報アップデートに努める。
- 活動テーマ・イベントについては適宜部会内にて協議し柔軟な対応を行って行く。

5 普及委員会

活動方針

MIDI 規格の正しい理解と普及を目的として、教育（MIDI 検定の実施継続）・普及（MIDI 規格委員会・会員各社との連携によるイベント等の実施）について、各委員会と連携し、計画・提案を行う。

事業計画

■ MIDI 検定事業

「委員会開催予定」

4 月開催：2025 年度活動スケジュール・内容の確認と対策

【2025 年度 MIDI 検定試験】

オンライン試験+団体会場試験（3 級+2 級 1 次）

「第 17 回 MIDI 検定 1 級試験」 2025 年 8 月実施

「第 28 回 MIDI 検定 3 級試験」 2025 年 12 月実施

「第 27 回 MIDI 検定 2 級 1 次（筆記）試験」

2025 年 12 月実施

「第 27 回 MIDI 検定 2 級 2 次試験」

2026 年 2 月実施

【2025 年度指導者認定講座】 オンライン講座

「MIDI 検定 4 級指導者認定講座」 2025 年 6 月に開催

「MIDI 検定 3 級指導者認定講座」 2025 年 7 月に開催

「MIDI 検定 2 級指導者認定講座」 2025 年 9 月に開催

■ イベント事業

MIDI 規格委員会・広報委員会等と連携して、MIDI の普及イベントの計画と立案を行う

6 広報委員会

活動方針

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

活動計画

- 会報「AMEI News」編集会議 3 回
- セキュリティー強化対策の検討会議 1 回
- サスティナビリティ強化対策の検討会議 1 回

事業計画

1. 会報『AMEI News』の発行（事務局との連携により推進）
 - 年 3 回（4 月、8 月、12 月）ホームページへの PDF ファイルの掲載
2. ホームページの充実（事務局との連携により推進）
3. セキュリティ、サスティナビリティ強化対策の検討の実施（事務局との連携により推進）
 - 個人情報保護対策の強化検討
 - クラウドサービスの可能性検討



MUSIC AWARDS JAPAN 2025 にて AMEI がミュージックテック功労賞を受賞しました

5月21日（水）～22日（木）の2日間にわたってロームシアター京都で開催されました国際音楽賞 MUSIC AWARDS JAPAN 2025 において、AMEI が「ミュージックテック功労賞」を受賞。

阿部会長が会場においてルビー（トロフィー）を受け取りました。



MUSIC AWARDS JAPAN では、世界に誇るべき作品やアーティスト、クリエイターを讃えると共に、グローバルに貢献した日本のミュージックテックを讃える部門としてミュージックテック功労賞を設置いたしました。

MUSIC AWARDS JAPAN 実行委員会にて、当該部門の選考を行った結果

「音楽データ通信の標準規格となった MIDI 規格の開発・普及。

それにより音楽制作やライブパフォーマンスの可能性を飛躍的に拡張させ、音楽制作の基盤技術として世界的な影響を与えた功績。

そして、現在もなお続く音楽業界への多大なる貢献を讃え、本部門賞を一般社団法人音楽電子事業協会様にお贈りさせていただきます。」

MUSIC AWARDS JAPAN 実行委員会



令和6年能登半島地震により被災された皆様に、
 謹んでお見舞い申し上げますと共に、
 1日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

会員名簿

50音順 2025年9月1日現在

あ	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社シンクパワー 	や	
<ul style="list-style-type: none"> AlphaTheta 株式会社 	す	<ul style="list-style-type: none"> ヤマハ株式会社 	
い	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ズーム 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメント 	
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社インターネット 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社鈴木楽器製作所 	<ul style="list-style-type: none"> ホールディングス 	
え	た	ろ	
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社エクシング 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社第一興商 	<ul style="list-style-type: none"> ローランド株式会社 	
か	て	<ul style="list-style-type: none"> 〈正会員会社 22 社〉 	
<ul style="list-style-type: none"> カシオ計算機株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ティアック株式会社 		
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社河合楽器製作所 	な	<ul style="list-style-type: none"> * 賛助会員 	
く	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社 nana music 	<ul style="list-style-type: none"> 中音公司 (中華人民共和国) 	
<ul style="list-style-type: none"> クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 	に	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社博秀工芸 	
<ul style="list-style-type: none"> クリムソンテクノロジー株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本シンセサイザープロフェッショナルアーツ 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ミュージックトレード社 	
こ		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社リットーミュージック 	
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社コルグ 	は	<ul style="list-style-type: none"> 〈賛助会員会社 4 社〉 	
し	<ul style="list-style-type: none"> バイオニア株式会社 		
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社シーミュージック 	ふ		
<ul style="list-style-type: none"> 学校法人尚美学園 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社フェイス 		



令和7年度
「MIDI検定」
 —ミュージッククリエイターのためのライセンス制度—

System Exclusive
 ID会員
 募集中



MIDI検定試験

1級試験	2025-8/8(金)~8/18(月)
3級試験	2025-12/7(日)
2級1次(筆記)	2025-12/7(日)
2級2次試験	2025-2/14(土)~2/16(月)

指導者認定講座

4級指導者認定講座	2025-6/1(日)
3級指導者認定講座	2025-7/27(日)
2級指導者認定講座	2025-9/28(日)

AMEI NEWS Vol.86 / 2025.9.16
 一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌
 発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局
 〒101-0061
 東京都千代田区神田三崎町 2-16-9 イトービル 4F
 TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549

発行人：下山 恒一
 編集人：石黒 士郎 (広報委員会)
 編集協力：株式会社 博秀工芸
 ホームページアドレス：
<http://www.amei.or.jp/>

